

# 2026年5月15日 第3550回例会

於： 横須賀商工会議所

- <点鐘・開会> 12:30 山下 会長
- <斉 唱> 「我等の生業」
- <新会員入会式> \*飯塚 哲哉 会員 (推薦者:平松 廣司会員)



- <会 長 報 告> \*ガバナー事務所より
  - ・ロータリーレート変更のお知らせ 5月1日から1ドル160円 ⇒ 160円
  - ・ローターアクト・RYLA委員会のご案内について  
日 時: 5月30日(土) 17:00~ 委員会  
場 所: 第一相澤ビル8F「会議室」

- <委員長報告> \*RA委員会 権田委員長より  
国際ロータリー第2780地区第37回ローターアクト地区大会 報告

- <幹 事 報 告> \*第1グループ会長・幹事会 報告  
\*例会終了後第11回理事役員会開催 (例会場)

- <出 席 報 告> \*出席委員会 森委員長から5月15日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メークアップ数	出 席 率
111名	98名	65名(3名)	32名	3名	70.41%

メークアップ: 植田会員 理事役員会出席 小保内、前田両会員 地区委員会出席

## <ニコニコ報告>

- ・加賀本、田 邊 両会員 誕生月祝いとして
- ・小林(+) 会員 入会月祝いとして
- ・権 田、苅 山、小山(+)、笠 木、井 上、新 倉、森、梁 井、角 井、澤 田、加賀本、小佐野、齋藤(+)、杵 淵、高橋(+)、田 中、濱 田、北 村、八 木、藤 村、岡田(+) 各会員  
本日は国際奉仕事業: ネパール視察報告会です。関わって頂いたメンバーの皆様ありがとうございました。本日はよろしくお願ひいたします。
- ・三 役 飯塚哲哉会員ようこそ横須賀RCへ。そして横須賀の街へお帰りなさい。会員一同心より歓迎いたします。
- ・比 護、渡 邊、木 村、小 澤、真 野、江 口、新 倉、柴 田、田 邊、佐久間、八 巻、上 林、鈴木(+)、徳 永、杉 浦、澤 田、飯塚(+)、加賀本、小佐野、高橋(+)、平 松、濱 田、岡田(+)、白 井、萩 原 各会員  
横須賀共済病院 事務部長 飯塚哲哉会員、入会おめでとうございます。これからもよろしくお願ひいたします。
- ・飯塚(+) 会員 この度は歴史と伝統のある横須賀ロータリークラブに入会をご許可いただきありがとう

ございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

- ・5番テーブル 濱田マスター 小山美智恵サブマスター 5月12日(火)5番テーブルミーティングを18時から鐵丸にて開催しました。お忙しいところ比護SAA、三宅さんにご参加頂き、濱田マスターからの横須賀の日本酒の差し入れと美味しい料理と共に堪能、楽しい時間を過ごすことが出来ました。小澤会員からのチーズケーキのお土産ありがとうございました。参加して頂いたメンバーありがとうございました。
- ・浅 葉、梶 木、杵 淵、鈴木(+)、高橋(+)、新 倉、若麻績 各会員  
5月12日(火)、5番テーブルミーティングを鐵丸にて開催しました。濱田マスターからの美味しい横須賀の日本酒と美味しい料理で会話もとても盛り上がりましたね。濱田マスター、小山美智恵サブマスターお世話になりました。小澤会員お土産ありがとうございました。
- ・7番テーブル 瀬戸マスター 森サブマスター 5月12日(火)、7番テーブルミーティングをポットベリーにて開催しました。お忙しいところ山下会長にご参加頂きありがとうございました。山下会長、斎藤真且会員、瀬戸マスターからの差し入れのシャンパンとワイン、美味しい料理で大変盛り上がりました。参加して頂いたメンバーありがとうございました。
- ・石 川、勝 見、齋藤(+)、杉 浦、野 坂、松本(+) 各会員  
5月12日(火)、7番テーブルミーティングをポットベリーにて開催しました。山下会長、斎藤真且会員、瀬戸マスターからの差し入れのお酒、料理が美味しく会話も大変盛り楽しい時間を過ごすことができました。瀬戸マスター 森サブマスターお世話になりました。
- ・加藤(+)、齋藤(+)、椿、前 田 各会員 5月10日(日)に開催しました「ピンクリボン横須賀2026講演会」も横須賀ロータリークラブ会員の皆様のご支援&ご協力のおかげで無事盛會に終わることができましたことご報告、御礼申し上げます。素晴らしい講演会となりました。当日、講演会運営のお手伝い頂いた会員の皆様、本当にありがとうございました。
- ・山 下、堀 川、吉 住、石 田、松 川、高橋(+) 各会員  
今週末の土日で「よこすかカレーフェスティバル2026」がヴェルニー公園で開催されます。個性豊かなカレーが一堂に集結する、2日間の食の祭典です。また5月17日(日)限定で、ヴェルニー公園に隣接する海上自衛隊横須賀地方総監部にて、船艇一般公開(予定)などが行われます。市内の小中学生もブースで自作カレー販売も行うので、お出かけになられたらいかがでしょうか。

## <卓 話> < 国際奉仕事業ネパール視察 (2/28~3/4) 報告会 >

### ◇加藤 淳 国際奉仕委員長

国際奉仕委員長の加藤です。本日は例会の貴重なお時間に「国際奉仕事業 ネパール視察報告会」の説明機会を頂き感謝申し上げます。説明に入る前に「本プロジェクトの成功」は会員の皆様、並びにチトワンロータリークラブの皆様のご協力があったのことに、改めてこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。私事ではありますが、パスポートを持たない国際奉仕委員長でもこのプロジェクトを実現できたということは「これからもパスポートのない会員でも対応は出来る」ということです。どうぞ国際奉仕活動したい方は積極参加をよろしくお願ひ致します。それでは、資料に基づきご説明させていただきます。まずは、本プロジェクトに着手した経緯についてご説明致します。始まりは、2020年度「中期ビジョン策定委員会」を立ち上げ、会員の皆さんと約4年にわたり熟議を交わし、その中でネパール人である当クラブの Loknath 会員から提案のあった「ネパールで困っている安全な飲料水の給水への支援」に検討着

手することとしました。勿論、机上の検討だけでなく、2024年1月にはLoknath会員の橋渡しで会員4名で現地を確認するところから入り、「水道環境の厳しさ」や「毎日、危険な道のりを約1時間かけて複数回の水汲み」、そして「チトワンロータリークラブの声を聞きとった」結果、安全な飲料水の給水に着手することとなりました！そして、2024年度7月に国際奉仕委員に加え、三役・理事役員の皆さんや建設業の会員を中心に総勢20名で国際奉仕プロジェクトを発足し、チトワンロータリークラブとも複数回に渡る意見交換を交わし、それを反映した資料を作成し、情報集会を含め、複数回、会員の皆様とも意見交換を行い、その結果、ご理解を得て「チャムガ村・カスワ村の175世帯の水施設と85人が通う小学校の衛生面の改善」を目指し、グローバル補助金を申請しました！申請書も実に18ページに及ぶ資料です。英語版を日本語に略すのも一苦勞でした・・・。更には2025年2月にネパールへ2回目の視察に行き、現地の皆さんやチトワンロータリークラブの皆さんとの深い絆を育むことも出来ました。そして、同年4月に正式に財団より「グローバル補助金」の承認を得ることができ、同年8月には、正式にグローバル補助金受給することができました。皆さんもご記憶あるかと思いますが、水道供給事業も完成に近づいた2025年11月には、チトワンロータリークラブ4名の方が訪日頂き、横須賀副市長・ネパール在日大使館・2780地区第1グループの皆さんや同じネパールへの事業支援を行った「足柄ロータリークラブ・かながわ湘南ロータリークラブ」等、多数の皆さんと「訪日祝賀会」を開催し、翌日には横須賀市長へ表敬訪問するとともにチトワンロータリークラブとの絆を深める「MOU覚書締結 調印式」や「海上イケス釣り堀大会」も開催致しました。そして、今年3月には無事飲料水供給工事も完了し、その工事完了式典にも当クラブより、7名出席しました。その詳細は後程、ご説明致します。最後に本プロジェクトでの案件規模をご説明します。「地区補助金とグローバル補助金」の選定フローをまとめたものです。実施国にロータリークラブがあり、案件規模が3万ドル以上で重点7分野（平和・疾病・水・母子・教育・経済・環境）に当てはまる場合、グローバル補助金を活用できます。今回のプロジェクトは40,574ドル（日本円で約650万円）となり、グローバル補助金対象となります。

#### ◇鈴木 孝博 副会長

このプロジェクトのスタート段階から携わらせていただいております。簡単ではございますがご説明をさせていただきます。実は私がロクナト会員とネパールへ同行したのは2013年でございます。13年前に初めてネパールへ行き、合計9回ネパールを訪れております。ロクナト会員から2016年には、カトマンズロータリークラブまた、チトワンロータリークラブにメーキャップをさせていただきました。

その際、驚いたことが、両クラブは毎例会を社会奉仕活動の現場で例会を開いており、複数のプロジェクトが同時に動いており、絶えず社会奉仕をされている状況でございました。その後、2019年に横須賀市がネパールと人材協定を結ぶにあたって、横須賀市の職員の皆様、地元の企業の皆様、そして、岡田会員と共に2019年1月に訪問をしております。岡田会員にもネパールの現状を色々和您にいただき、その頃、フィリピンの国際保守プロジェクトが終わるということもあり、ロクナト会員から、このネパールで何か支援ができないかご意見をお伺いし、ご提案をさせていただいたのがスタートでございます。その後、2020年度から2023年度に策定委員会の立ち上げさせていただいて、その後、中期ビジョンから本プロジェクトに移行させていただきました。2024年にはエノラ会員も行っていただき、そして、山下会長、鈴木幹事も2回にわたって現地へ赴いていただき、この給水、飲料水の給水プロジェクトが完結しております。まだ、3年間このプロジェクトが続きますので、是非、これからも中期ビジョンに基づいてネパールとの国際奉仕プロジェクトが続くことを願っております。先ほど加藤委員長からもありましたように、加藤委員長とエノラ会員がいなかったら、このグローバル補助金の申請も儘ならなかった状況でございますので、本当にお二方に感謝を申し上げ、私の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

#### ◇苅山 寛樹 国際奉仕委員

皆様、こんにちは。今回、ネパールに同行させていただきました苅山です。私からは、現地の完成した水道設備の概要と水質検査の報告をさせていただきます。

【スライドを見ながら説明】

これまで村の人々は、毎日1時間もの時間をかけて険しい道を歩き、水を汲みに行かなければならない過酷な状況から、本プロジェクトによって各家庭や学校に給水設備が整備された事で、家や学校のすぐそばで、いつでも清潔な水が自由に使える環境へと劇的に変化した事に大変喜びを感じていました。私自身、水道工事にたずさわっていますが、蛇口から出る水を嬉しそうに飲んでいる姿を見て、改めてこの仕事を持つ「命を繋ぐ重み」に深い感銘を受けました。当たり前に出る水が、これほどまでに人を笑顔にし、希望を与えるものだと再確認させられた貴重な視察になりました。横須賀ロータリーが協力して完成させたこの水道設備は、単なるインフラではなく、村の人々の健康を守り、子供たちが未来を描くための時間を創り出す「村の健やかな未来」そのものであると確信しました。以上で私からの報告を終わります。ありがとうございました。

#### ◇鈴木 豊司 幹事

現地で感じた奉仕の感動と実感についてご報告させていただきます。今回の旅程は、まずはカトマンズに行ってカトマンズから飛行機に乗ってチトワンに入ります。チトワンから更に2時間ぐらい山の奥に登っていくと現地がございました。道もすごい険しい道で、実は去年行った時には全く舗装されてなかったのが、今年はそのが舗装されていて安心だなと思っていたら、山の上の方に行くと、もう、崖崩れがあって道の半分崖崩れておりました。崖の下は100m、200mくらい本当に崖になっており、落ちたら本当に危険な所をゆっくりと通っていくようなところに村がございました。実際村に行きますと私が今まで経験したことがない空気の音を感じることができます。サーッという音がありまして、それ以外の音は一切ありません。そこに、鶏の鳴き声が響いて聞こえるだけのところでした。昨年行った時には、そこに笑顔で甕を持った男性たちが、水を汲みに行く姿が大変印象的だったんですが、今年行きましたら、そういう男性はおらず、我々が行った瞬間に歓待を受けましてセレモニーに参加をいたしました。実際、もちろんきれいな水を各ご家庭に送るといのが大きな使命ではございますが、現地の方が一番欲しかったのは、やはりパイプラインでございました。とにかく、水を家に敷いて欲しいということが一番の願いだったようです。実際、セレモニーに参加して感じた事が、とにかく老若男女問わず踊りまくって大歓迎を受けるんですが、とにかく嬉しい、嬉しい、嬉しいの一言で皆様が大歓迎をしてくださいました。観光で行くと甕を持って水を汲みに行く姿ですごく風光巡りで、こちらの方は生まれた時から行っているので自然だと思っておりましたが、村の方は水汲みがとても嫌だったとの事です。もう、水汲みは辞めたい、とにかく水を自由に使いたいというのが本音でございました。村の長老の方が長い間、本当に感謝の弁を何度も我々に伝えてくれているというのが、大変、印象的でございました。また、もう一つ感じたことでございますが、セレモニー会場は、村の真ん中にある、小さな小学校で行われておりました。そこで、我々もセレモニーに参加しており、その横には早速、敷かれた水道の蛇口がございまして、セレモニーを行っている最中、小さな女の子が水で手を一生懸命洗っている姿が非常に感動的で、日本の小学校でしたら何処にでもある光景で、1年前までは、そんな貴重な水で手を洗うなんて出来なかった事だと思っております。セレモニーが終わり車に乗り、村人の家の間、横の小道と色々な道を車で通って帰っておりましたが、その横でも、ご家庭の庭に敷かれた水道で米を洗っている村の人、また、手を洗っている村の人、そういう方々の姿が大変、印象的でした。私は戦後世代で、生まれた時からテレビもカラーで、蛇口はあり、トイレも水洗で、何一つ不自由なき生活を送っており、実は日本人は本当に幸福なのかと考えさせられたりと、今回は、色々な感動と、経験をさせていただきました。やはり今まで必要で、本当に欲しい、本当に欲しいというものが実現する喜びというのは、私の世代では経験したことないのではないかと感じ、生まれた時から全てに恵まれ、どこ行くにも電車も車もあり、飲めるいい水もあるという生活が、大変良いと思っておりますが、今となってそれが当たり前と感じてしまうと、何かあった時には非常に困るのではないかと思っております。皆様、今後、車のオイルも、タイヤもなくなってしまふ恐れがあると聞いております。車に乗る方は、本当に死活問題な状況であると思っておりますが、やはり、我々も何かに依存しない生活をこれから考えていかなければならないのではないかと、そういうことを感じたひと時でもございました。結果として、今回は大変素晴らしいプロジェクトということを、肌身で感じて参りました。この思いが皆様方にどれほど伝わるかはわかりませんが、私からの報告とさせていただきます。

#### ◇渡邊 磨 会長エレクト

私からは、チトワンRCと横須賀RCで今年度交わしたMOUに基づき、新たに提案されている「ガイラガリ・エコビレッジ・プロジェクト」についてご説明いたします。このプロジェクトは、ネパール農村部における先住民家族のタルー族120世帯の生計を改善するグローバル補助金プロジェクトになります。場所はネパール、チトワン地区にあるガイラガリ村です。地図で見るとネパールの真ん中の下の方になります。このプロジェクトの目的は、極度の貧困にある農村地域において、女性主導のエコツーリズムを通じてタルー族120世帯の生活を向上させることです。期待される効果としては、経済的な自立だけでなく、原住民の伝統文化や環境の保護など、多岐にわたります。経済的自立の促進：120世帯の収入向上を図り、極度の貧困を削減します。女性のエンパワーメント：120名の女性が意思決定に参加し、権利を獲得できるよう支援します。文化の保護：伝統舞踊、言語、風習など先住民文化の継承を促進します。環境保全：チトワン国立公園に隣接する地域として、野生動物との紛争軽減や森林保護に寄与します。具体的な活動内容ですが、コンセプトは・環境に優しい観光地になります。プロジェクトは大きく分けて5つの活動から構成されています。①ホームステイ・エコツーリズム（伝統的なタルー住宅での宿泊、伝統舞踊、食文化、儀式、お祭り、農作業など先住民の文化体験や村のツアーや隣接するチトワン国立公園のジャングルサファリ、ラプティ川でのボート遊び、ジャングルウォークなど）、②農業（有機野菜栽培）、③魚の養殖（養魚池用の太陽熱温水ポンプを使って、水の浄化・配水システムを運用）、④アヒル飼育・養鶏、⑤先住民の手工芸品のプロモーション（フェアトレード市場を通じた手工芸品の販売促進）といずれも環境に配慮した、持続可能な取り組みとなっております。また、タルー住宅についてはチトワンRCとハワイRCの協同プロジェクトとしてすでに建設が進んでおり、その現地で視察をした映像をご覧いただきたいと思います。このプロジェクトが成功すれば、村の女性たちが自ら自立して、環境を守りながら伝統文化を次世代へ継承する、持続可能な仕組みが整います。次年度RI会長メッセージである“持続可能なインパクトを生み出そう”にも合致した取り組みとなります。どうか皆様のご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます

#### ◇山下 和男 会長

加藤委員長はじめ、皆様大変尽力していただきました。今年度の経験をフィードバックして、次年度以降も進めていきたいと思っておりますので、会員皆様のご協力をお願い致します。

<閉会・点鐘> 13:30 山下 会長

週報担当 吉住 尚人